

03 | 理事長対談

誰もがしあわせな未来を思い描くことができるまちづくり

公益社団法人 仙台青年会議所
第69代理事長

宮城県知事

木皿 讓司 × 村井 嘉浩

02 | 理事長挨拶

08 | 事業報告

12 | コロナ事業報告

14 | 2021年度 JCI国際アカデミー開催に向けて

15 | 2021年度理事長予定者紹介・編集後記



<https://www.sendai-jc.or.jp>

本誌は仙台青年会議所の運動を幅広く一般の方々に発信するための広報誌です。
仙台青年会議所公式ウェブサイトでも本誌に掲載された内容をご覧いただけます。



理事長挨拶



公益社団法人仙台青年会議所
第69代理事長 木皿 譲司

平素は仙台青年会議所（以下、仙台J.C.）に対し、格別のご高配を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。本年度の仙台J.C.は、「Work Together to Create the Future」～至誠の精神のもと仙台の未来を切り開こう～をスローガンに掲げ、厳しい社会情勢

下にあっても、未来への歩みを止めることなく、しあわせを共感できる仙台の実現に向けた地域運動を展開してまいりました。

本年は、特に「国際」に力を入れ、仙台の国際力を育む事業を展開してまいりました。私たち仙台J.C.は、世界125カ国からなる国際組織（J.C.I.）の特色やネットワークを活かし、グローバルな視点のもと地域を牽引する人材を育み、国内外の多様な価値観に触れる中で得た経験や知見を仙台の発展に結び付けるべく、まちづくり・ひとづくり事業、青少年育成事業、防災・減災事業等、様々な事業軸において「国際」をテーマに据え、仙台の国際化推進に寄与する運動を創出してまいりました。

また、来年2021年には、J.C.I.国際アカデミーが仙台の地で開催されることとなり、私たちが起

点となり、仙台の国際化をさらに力強く牽引させていただきたいと考えております。J.C.I.国際アカデミーとは、世界80ヶ国あまりの国際青年会議所の代表者が集い、国際交流とグローバルネットワークとしての自己研鑽を重ねることで、各国との友情を深め、自分の国や地域に留まらない社会発展や世界平和を確立することを目的とした事業です。また、開催地域においては行政、企業、学校等の連携を始め、ホームステイ先や通訳ボランティア等で協力いただく市民の方々に至るまで、地域全体が国際の機会に対し主体的に関わりを持つことで、市民協働による都市の国際化を実現する事業性を有しております。

私たちが理想とする仙台の実現には、誠の心をもって能動的に行動する「至誠」が必要であり、私は、市民一人ひとりが至誠を尽くし、

未来を見据えて行動していくことで、誰もがしあわせを共感できる仙台が創造されると確信します。そしてまた、未来に向けた市民運動に対する原動力や能動性は、Work Together（協働）により創出され、加速・拡大していくものだと考えております。

結びとなりますが、未知のウイルスによる影響は未だ収束が見えない社会情勢ではありますが、仙台J.C.は、これからも決して未来への歩みを止めることなく、新たな時代を切り開く責任世代として、何事にも先駆けて取り組むとともに、想いと行動を共にする市民運動の輪を拡げるよう邁進してまいります。今後とも当会議所が展開する事業にご支援いただいている行政・企業・関係各所の皆様、市民の皆様からの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理 事 長 対 談

宮城県知事

公益社団法人 仙台青年会議所
第69代理事長

村井 嘉浩 × 木皿 譲司

誰もがしあわせな未来を 想い描くことができるまちづくり

新型コロナウイルスの影響から考えるまちづくり、ひとづくり。

東日本大震災から10年目を見据えなにをすべきか。

国際都市としてのまちの未来を考える。



木皿理事長（以下、木皿） 平素は公益社団法人 仙台青年会議所（以下仙台JC）の様々な事業におきまして、村井知事をはじめ、宮城県の皆様の大なるご理解とご協力・ご支援をいただいておりますことにあらかじめ御礼申し上げます。

村井知事（以下、村井） こちらこそありがとうございます。

木皿 やはりなにをおきましても、新型コロナウイルスの社会的影響が残る昨今でございますので、仙台JCといまして、年次に思い描いたような活動を予定通りに行うことは困難な状況でした。3月以降、緊急事態宣言をうけまして、まちづくり、ひとづくりにおいては手法の転換を余儀なくされ、完全に非接触型、またはICTの活用、デジタル活用という形で手法を転換し、しかしながら趣意目的は違えずに、都市の国際化、青少年の育成、防災の推進、そういった軸で活動を続けてまいりました。その中で、仙台七夕花火祭の中止判断は、非常に難しい判断となりました。

村井 コロナ禍において仙台の夏の風物詩である、仙台七夕花火祭の中止は難しい判断になりましたね。

木皿 はい、しかしながら、仙台七夕花火祭は中止とさせていただきますが、このような状況下におきましても、地域愛、そして伝統文化の継承という観点を持ち、市民の皆様に希望の光を

抱いていただきたいと思い、8月5日に、制限された中ではありましたが「想いを紡ぐ打ち上げ花火」新たな未来への一歩を踏み出そう」のテーマのもと、170発の花火を7分半打ち上げさせていただきました。その他、仙台の国際化に重きをおいた事業を行っておりまして、市民そして地域の国際意識の醸成と青少年に対する国際意識、そして国際教育の推進を、オンラインツールを活用し、制限の多い中におきましても、積極的に推進しております。

村井 今の状況下において最大限に活動されておりますね。素晴らしいと思います。

木皿 また、年初に訪問させていただいた際に、JCー国際アカデミーの誘致活動についてご報告いさせていたいただきましたが、2021年度の仙台での開催が決定いたしました。

村井 決定ですか。おめでとうございます。どのような方々が来訪されますか？

木皿 人数としては200名弱ですが、125カ国にあるJCー組織の中から世界の青年経済人の方々が仙台に来訪します。そして10日間滞在し、グローバルネットワークとしての自己研鑽を重ねるとともに、各国との友情を深め、自分の国や地域に留まらない社会発展や世界平和の確立を目指します。そして、この仙台、宮城の魅力をも自国に持ち帰っていただく事業となつ



ています。

村井 来年の開催が楽しみになる、素晴らしい事業ですね。

新型コロナウイルスの影響を見据えた経済活動やまちづくり

木皿 ありがとうございます。実施に向けた準備を加速させてまいります。続きまして、宮城県における新型コロナウイルスに対して、withコロナ、afterコロナを見据えた経済活動やまちづくりの取り組みにつきましてはどうでしょうか。

村井 新型コロナウイルス問題は東日本大震災と違って、北海道から沖縄まで皆同じ状況です。従って私は、国と市町村と歩調を合

わせて同じ方向を向いて対応すべきだと考えておりまして、政府の方針にしっかりと従いながら、同時に宮城県の特性を鑑みながら対応しております。現在政府は、新型コロナウイルスをしっかりと押さえ込みながら、そして経済活動の再開を、段階をもって拡張していくという方針ですので、現在その方針に則って対策を講じております。とはいえ、※宮城県で既に400名を超える方が感染をされており、残念ながら2名の方がお亡くなりになっていることは重く受け止めなければなりません。今日もマスクをして対談いただいておりますが、新しい生活様式をしっかりと皆様に徹底していただくように、ご協力をお願いしているというところであります。

仙台市は経済のほぼ9割方が第2次、第3次産業です。第3次産業というのがコロナ禍においては大きく影響を受



けますので、仙台市の対策を万全にすることが、結果的には新型コロナウイルスの収束につながっていくだろうと考えられており、郡市長と頻繁に連絡を取りながら協力して対応しております。また、感染防止策を講じている店舗や事業・イベントの開催については、県のホームページから申請をしていたらと、新型コロナウイルス対策実施中と記載されたポスターを、電子データにてご提供させていただいております。このポスターは自己申告により発行するものですので、県が安全を保証するものではありませんが、店舗などでもしっかりと検温していただいたり、適切な距離を確保していただいたり、あるいは飛沫防止措置を講じていただく対策を、官民挙げて対応していければと考えています。

今のところは患者数も低い段階で抑え込まれております。大都市である仙台市がある中で、新型コロナウイルスを抑え込むことが実践できており、周りから評価をいただいておりますが、今後インフルエンザウイルスが流行期を迎えますので、爆発的に患者が増えて病院が受け入れできないということにならないように徹底していきたいと考えています。

木皿 新型コロナウイルスの対応・対策に関しましては、村井知事をはじめとします宮城県の皆様の素晴らしいご指示のおかげで、我々も安心して生活と事業を営むことができております。正に適切な警戒という事を感じます。

村井 ありがとうございます。そうですね、正しく怖がる事は大事ですね。

木皿 今後、飲食に限らず様々な事業活動、まちづくり、ひとつづくり、各種イベント、行事毎も適切な対応のもとであれば、推奨されていくべきだと思っております。そして、未来に向けた歩みを仙台JCとして止める訳にはいかない、と考えておりますので、私たちは組織として適切な警戒を怠る事無く、且つ、まちにより良い影響を与えられる様な活動を続けてまいりたいと思います。

村井 そうですね。特に青年会議所は青年経済人の集まりですので、まちに住み暮らす県民の方々への規範となる活動を非常に期待しております。

ICT・デジタル化への取り組み

木皿 また、コロナ禍におけるもう一つの重要な観点となるのが、ICT化、デジタル化という点かと思うのですが、仙台JCといたしましても、本年、急場で運動に関わる手法の転換を余儀なくされました。一例として、オンラインでの学生同士の海外交流、そのオンライン交流の中から得た成果物を海外と共有し、運動を発信する。その様な青少年育成事業を行いました。現在は、この様な形で、ICTを活用した地域の魅力発信や、市民意識の高揚につながる事業を開催させていただいております。今後、このICT化、デジタル化という点は、更なる進化を遂げていかなければならないと思っております。その進化をしっかりと、まちづくり、ひとつづくり、ひいては事業活動にも寄与していかなければならないと考えますが、宮城県としてのICT化、デジタル化などの取り組みについてご紹介いただけますでしょうか。

村井 非常に重要な部分かと思えます。ICT化、デジタル化に関しては、東北は遅れている分野だと考えております。今までは、それでも良いじゃないか、という風潮がありました。ICT化、デジタル化は新型コロナウイルスの影響で一気にブレイクスルーしたと私は思っています。宮城県も少なからずICT化、デジタル化に取り組んできておりましたが、これからは、より積極的にICT化、デジタル化を推進していこうではないかという事で、

今年9月に記者会見で『みやぎデジタルファースト宣言』を発表しました。この狙いの一つは、デジタルファーストによって、県民サービスを向上させる。2つ目は県内の産業を活性化させる。そして3つ目は、県庁などの職員を含めて働き方改革の推進をする、というこの3つを柱にしようという事で宣言をさせていただきました。

また、宮城県庁内でも月200回位、WEB会議を開催するようになりまして、これからどんどん進めて行きたいなと思っております。是非JCの皆様も取り組みを積極的に進めていただきたい、特にICT化、デジタル化というのは、若い人は取り組みやすいですけど、歳を重ねてくると、抵抗を感じてしまう傾向にありますから、皆様から改革を推し進めていただきたいと思いますね。

木皿 ありがとうございます。

仙台JCでも3月から8月にかけては、ほぼ全ての会議をオンライン会議とさせていただき、私たちもオンライン会議にだいぶ慣れてまいりました。最初は発言の回数が少なくなり、内容が少し薄くなってしまうかなと感じることがありましたが、回を重ねるごとに、事前の意見や事後の意見などは本質を得たものに変わってまいりました。オンライン会議ならではの特性を活かした生産性向上のあり方も見えてきたように思います。私たちが積極的に実践し、自分の会社に持ち帰る、自分の地域に持ち帰ることによって更に広まって地域全体が活性化し生産性の



向上につながるものと考えております。

村井 J.C.の組織と会社の組織は違うものでありますが、オンラインツールを使うという意味では同じことなので、先進的に取り組むことで仙台J.C.の皆様のお社にとって、良い効果が表れるのではないかと思います。

宮城県は、2020年度中に次期情報化推進計画である、『※(仮称)みやぎ情報化推進ポリシー』を作ろうと思っております。全庁挙げて県内全体でどうしていくのか、デジタル化をどう進めていくのかなどの計画を作っているたいと考えているため、その際は是非、仙台J.C.の皆様にご協力をお願いしたいと思っております。

東日本大震災10年の節目の取り組み

木皿 是非、お声掛けいただきたいと思っております。

続いて、新型コロナウイルス感染拡大防止への引き続きの継続的な適切な警戒を行っていく中で、やはり東日本大震災の復旧・復興することに、変わらず取り組まれるところは、いつもホームページなどで拝見させていただいておりますが、来年2021年に10年目の節目を迎える年、宮城県の取り組みとしても、お聞かせいただければと思います。

村井 ハード事業は、本年度でほぼ完了いたします。安心していただきたいと思いますが、これからはソフト事業に注力すべきだと考えております。例えば、心のケアを必要とされる方々はたくさんおられます。東日本大震災後から中学校の不登校率が全国ワースト1になってしまい学校に行けない子どもが増えてきた。そういった子ども達を救う対策をしつかり行わなければならぬと考えてます。

また、被災して家がなくなると、避難所へ行き、避難所でやっと知り合いができ、コミュニティができたなら、今度は仮設住宅へ移り、仮設住宅でやっとなコミュニティができたかなと思えば、また新しい家へ行かなければならない、あるいは災害公営住宅に移ったり、またそこで新しいコミュニティを作らないといけないなど、この9年間の間に、被災者の方々は何回もコミュニティを作らなければいけませんでした。すぐに誰でも仲良くなれる方もおられますが、逆にすぐには人との会話をすることが苦手であったり、打ち解けづらい方もおられますので、そ

ういった方たちが孤立や孤独にならないようなサポートも必要になると思います。

また、J.C.の皆様はご存知かと思いますが、発災にあたり、宮城県より資金の貸し出しをさせていただきましたが、そろそろ返済時期を迎えますので、対象の事業者や、まだ事業が本格的に戻っておられない方に対してのケアも必要と捉えております。表面上は綺麗に街ができていますので元に戻ったと思われるかもしれませんが、そのような水面下の見えない部分に対するケアをこれからしっかりといかなければならぬだろうと、これが大変だと私は思います。

木皿 仙台J.C.では、これまでに防災・減災の意識を市民 to 市民で広げていくという取り組みが多かったのですけれども、只今、村井知事のお話をお聞かせいただけて、これからの震災復興に求められる姿は必ずしも防災・減災だけでは足りないのだなと気付かせていただきました。我々仙台J.C.としてもこの10年で終わりという訳ではなく、この東北に活動する青年経済人団体といたしまして、今後のあり方についてしっかりと見極めていきたいと考えておりますので、引き続きご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

村井 防災・減災というのは本当に重要です。どうしても時間が経ってしまつたら忘れていつてしまつて、あの東日本大震災のあの悲壮な姿は辛い映

像として残ってはおりますから繰り返し見ることはできるのですが、とはいえ映像で確認する機会もだんだん減ってきていますし、震災の記憶はどうしても少しずつ風化してしまっています。もうあの時、あの震災から後に産まれた子どもみんな10歳ぐらいになっている訳ですよ。つまりその子たちは、全く震災なんて記憶に無い訳で、そう考えましたら我々の責務としては、しっかりとあの東日本大震災のあったこと、問題であったこと、うまくいったこと、いかなかったことをしっかりと検証していくことが重要だと思っております。そういった意味では防災・減災に仙台J.C.が力を入れていただいていると非常にありがたいと思っております。期待しておりますのでよろしくお願ひします。

J.C.国際アカデミー開催に向けて

木皿 最後のテーマですが、2021年度J.C.国際アカデミーを実施する我々仙台J.C.といたしましては宮城県の皆様、そして仙台市の皆様の地域を越えたご協力と協働をお願いしたいと考えておりました。2021年以降に新型コロナウイルスが収束することを期待してお話ではございますが、この国際のあり方と、宮城県のあり方について村井知事の考えをお聞かせいただければと思います。

村井 これからですね、残念なことに宮城県の人口が急激に減少します。

これから毎年平均して18,000人ぐらいつつ人口が減り始めてしま



ます。それでも宮城県は残りの5県に比べると人口減少は少ない県です。他の県はもつと減ってしまっています。その中でこの地域の活力を維持するためにどうすればいいのか。

私は国際化化したいと思っています。外国人が宮城・仙台に観光に来られるだけではなくて住み続けていただく、そして我々と一緒になって共生していく、そういう社会を作っていくければ間違いなく宮城県は廃れていくばかりだろうと感じています。従って国際化を見据えて復興から10年の節目の年、オリンピックもある年に、JCI国際アカデミーを仙台で開催して

いただけるといのは極めてタイムリーであると思っています。昨年末までで宮城県に住んでおられます外国人の県民が約2万4千人です。

まだまだ少ないですよ。宮城県民が230万人程ですからほんのわずかの数字です。1%の外国人、これをやはり3%、5%、10%と高めていかなければ、私は仙台が、この宮城が東北の中心地として栄えていくことは不可能だろうと思っています。

仙台は素晴らしいポテンシャルを持っていると思います。住み暮らす県民であれば感じると思いますが、非常に交通の便がいいですし、素晴らしい学校もありますし、何よりも食べ物も美味しいです。気候の寒暖差も少なく非常に住みやすいです。外国の方に住み続けていただくには非常に良い場所だと思っています。『みやぎ国際戦略プラン』の中では、定住していただくような外国人を増やすこと、合わせて外国からの観光客を増やすように取り組むことをしっかりと明記をして取り組んでおりました。

木皿 外国の方々に対しては、まずは知っていただく機会を増やしていく、県民の皆様に対しては海外の方との共生について理解と関心を高めていただくことが課題になってくるかと思えます。そういった課題の解消につながるようなJCI国際アカデミーを開催できればと思います。

村井 課題についてはその通りです。是非よろしくお願いたします。

木皿理事長がお話になったように海外の方に仙台を、宮城を知っていただく事が重要です。我々も海外に行った時にその国の首都圏は必ず行きますが、そこからちょっと離れた有名な街はあまり知られていないと思います。海外の方からは、残念ながら宮城という地名はあまり皆様に知られてないのですけど、仙台は意外と知られております。仙台という名前を最大限有効に活用させていただいて海外にアプロ

チしたいと思っています。観光キャンペーンも仙台宮城観光キャンペーンで、いつも仙台を頭に持ってくるようにしております。『仙台宮城デスティネーションキャンペーン』であったり、『仙台〇〇』『仙台宮城△△』としていまして、それは仙台が持っている認知度の高さを有効に活用しようという狙いです。そういう意味では仙台JCIは東北の中で一番大きなJCIで、影響力も大きく発信力がありますので、今後ともご協力を是非よろしくお願い申し上げます。

木皿 仙台JCIに期待すること、ひいては宮城県全体のJCIに対しての期待することをお聞かせいただけますでしょうか。

村井 私も今年選任になりました、若いつもりだったのですけれども、還暦になると少しずつ衰えを感じています。若さというのはものすごい魅力です。この若さを活かして内側に閉じこもるのではなくて、外に向けてエネルギーを発信していただきたいなと思います。皆様方の発信力や行動力に非常に大きな期待をしておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

木皿 こちらこそ、何卒よろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

ウェスト！太もものダイエット効果に期待！ 乗馬フィットネス

先着
10名様
11/30まで

**乗馬体験(20分)
無料ご招待！**

レンタル代、保険代を含む 1,860円がかかります。

●第一種動物取扱業の種類/展示
●登録証番号/仙台市(H30健保動) 指令第18127007号
●登録年月日/平成30年6月7日
●有効期限/令和5年6月6日
●動物取扱責任者/木幡 良彦

「最近、お腹のまわりが気になりはじめた」
「足腰が弱ってきて、思うように動けない」
そんな悩みを抱えている方はいませんか？
そんな方にも
おすすめののが、乗馬を通じた
ダイエットやフィットネスです。

お申込みは右のQRコードまたはお電話で！

☎022-349-5038

仙台市海岸公園馬術場

〈ホームページ〉公式海岸公園馬術場 検索
指定管理者乗馬クラブクレイン 受付時間9:00から17:00 定休日毎週火曜日
〒984-0842 宮城県仙台市若林区井土字沼向1

JCI 2020 事業報告

令和2年7月豪雨災害街頭募金



令和2年7月豪雨災害により各地に甚大な被害もたらしたことから、藤崎本館前のアーケードにて7月11日(土)、12日(日)、25日(土)、26日(日)の計4日間に渡り被災地域への支援金を募る街頭募金活動を行いました。2020年猛威を振るう新型コロナウイルスの感染予防対策として木川理事長をはじめとする参加した約40名のメンバーにはマスクとフェイスシールドの着用、手指及び募金箱のアルコール消毒、メンバー同士一定の間隔を空けるなどの対策を取るようして募金の呼び掛けを行いました。皆様の温かいご支援により4日間の合計で548,178円の支援金が集まりました。この度の支援金につきましては、公益社団法人 日本青年会議所を通じ、全額被災地に送らせていただきました。募金活動にご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げますとともに、被災地の日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。



思いを紡ぐ打ち上げ花火 ～新たな未来への一歩を踏み出そう～

8月5日(水)、「思いを紡ぐ打ち上げ花火～新たな未来への一歩を踏み出そう～」と題して、花火の打ち上げを実施いたしました。

本来であれば第51回仙台七夕花火祭を開催する予定でした。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会情勢を勘案し、開催中止を判断しました。仙台的活気は失われつつある中、これまで当たり前だったことが、当たり前でなくなり、新たな生活様式が求められる状況でも、私たちは、社会の状況に合わせて、市民と共に、私たちが住み暮らす仙台がこれまで以上に愛され、誰もがしあわせな未来を思い描くことができる仙台を創り上げる必要であると考え、例年仙台七夕花火祭が開催されている8月5日に新型コロナウイルスの感染拡大に配慮する形で、事前の周知は行わずに、短時間の花火を打ち上げました。現在のコロナ禍にあっても、地域における継承すべき文化である七夕花火祭を実感していただくとともに、市民に地域を愛する気持ちと未来への希望を持っていただくた

めに本事業を開催いたしました。

実施の様子は多くのメディアにも取り上げられ、今回打ち上げた、170発の花火により市民の皆様が新たな未来への一歩を踏み出す力になったと感じております。

開催にあたりまして、本事業の趣旨に賛同いただき、多大なるご支援・ご協力をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

仙台青年会議所では、今後も誰もがしあわせな未来を思い描くことができる仙台の実現に向け事業を展開してまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



新入会員公式面接・会員開発

9月5日(土)、2020年度新入会員公式面接審査を行いました。コロナウイルス感染拡大の影響で、例年よりも時期を遅らせての開催となりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止として、密にならないよう、午前・午後の2部構成とし、会場内の換気やマスクの着用を遵守し、ソーシャルディスタンス等の確保を徹底したうえで、書類審査を通過した22名の候補者の公式面接を実施しました。

公式面接審査では、仙台JCの未来を牽引する人財を獲得するという厳しい目線で審査を実施しました。また、現役メンバーで構成されるスポンサーは入会申込者の面接に同席するとともに、多くのアドバイスを送ることで候補者には心強い存在となりました。その後開催された選考委員会では入会候補者22名全員が審査を通過することができました。



第2回通常総会

9月17日(木)、
仙台青年会議所
2020年度第2回

通常総会をトークネットホール仙台(仙台市民会館)において開催しました。本総会はコロナ禍での開催ということを踏まえ、ソーシャルディスタンスを遵守し行われました。審議事項として第1号議案から第5号議案までの5議案が審議され、その中で2021年度理事長予定者を始めとする次年度理事会構成メンバーの決定について、満場一致にて可決承認されました。これにより、2021年度理事長予定者として菅原啓太君が承認され、仙台青年会議所2021年度体制がスタートを切りました。また、報告事項として2020年度上期収支報告や事業中間報告を行いました。



しあわせな未来を思い描く仙台創造事業 ~誰ひとり取り残さない! 仙台防災Work Together~

本事業は、仙台市内各地域の防災活動情報の共有により、仙台の防災力の底上げと今般のコロナ禍での防災課題を収集し、解決策を見出すことを目的に事業を実施し、9月初旬より仙台市危機管理室減災推進課の皆様のご協力のもと、市内の各連合町内会を中心に東北福祉大学Team Bousaisiの学生と共に取材を開始し、これまで計15地区241町内会90,628世帯の範囲に及ぶ地域の防災活動情報を調査しました。各地域の防災活動内容は、宮城ブロック協議会で立ち上げたWEBページ「地域防災プラットフォーム(MIYAGI BOSAI STATION)」を活用し、各地域の取り組みを記事として投稿し、地域の防災情報共有の場を推進しております。10月31日(土)に県内外の防災有識者をオンラインでつなぎ開催した「オンライン防災トーク」では、各地域の取材で収集したコロナ禍における地域防災の課題をテーマに解決策を導き出し、「オンライン防災トーク」の様子は後日編集のうえ、配信します。課題と導き出した解決策は事業参加学生と共に提言書として作成し11月24日(火)に郡市長に提出いたします。

私たちは引き続き市民の防災・減災の取り組みに対する意識を高め、地域の防災力を向上してまいります。



仮会員セミナー I

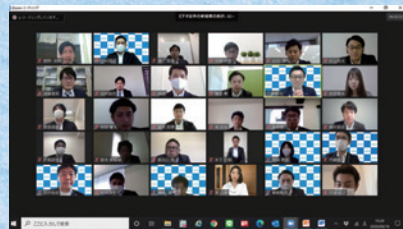
9月19日(土)、2020
年度仮会員セミナー I
が開催されました。

本年度の仮会員セミナー I は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面によるセミナーではなく、Zoomによるオンラインセミナー方式で行いました。仮会員22名全員が参加し、オブザーブとして多くのメンバーが参加しました。本セミナーは仮会員が受ける最初のセミナーであり、JC運動の基礎を学ぶとともに、JAYCEEとしての心構えを学びました。

参加した仮会員は、JC運動の基礎を学ぶことで地域発展に貢献する運動を展開する組織の一員としての意識を高めることにつながったと考えております。

仮会員は3週間後に開催される仮会員セミナー II に向けて課題に向き合いました。

会員開発委員会では仮会員の育成を通して、誰もがしあわせな未来を思い描くことができる^{まち}仙台の実現に向けて運動を展開してまいります。



安心と信頼のリーステント

- トータルプロデュース
- イベントテント
- オーニング
- 祭典用テント
- ファッションテント
- シートハウス etc...

S*i* 株式会社 齋テント

〒983-0013 仙台市宮城野区中野一丁目2-6
TEL:022-258-0441 FAX:022-258-0445
URL : <http://www.ne.jp/asahi/saitent/miyagi/>
e-mail : main@saitent.jp

第69回全国大会北海道札幌大会事業報告

9月26日（土）に第69回全国大会北海道札幌大会が開催されました。

今年度の全国大会は、新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となりましたが、仙台JCから多くのメンバーが参加しました。これまでにない新しい形で卒業生をお送りすることができ、素晴らしい全国大会になりました。

大会式典の部では、次年度会頭予定者や次年度全国大会開催地の紹介を通じて、2021年度へ力強くバトンを渡すことができました。また、2020年度の日本青年会議所運動の検証と継承の場として、これからの日本へ、そして国民へ日本青年会議所の考え方を発信し、地域の更なる支援・協力の拡がりを齎す機会となりました。卒業式の部では、これまでのJC運動を振り返り、卒業生の功績を称えら



ともに、卒業生の想いが現役メンバーに託されました。卒業生には、これまでの感謝を表し、生涯JAYCEEとしてそれぞれの地域のために活動し続けていただくようエールを贈ることができました。

第5回例会 組織を学び、自分を磨け! ～一人ひとりの行動が組織を輝かせる～

9月28日（月）、第5回例会を開催いたしました。

本例会では、社会に多様な発信をされている脳科学者・茂木健一郎氏を講師としてお招きし、第1部では、強化学習や利他性という観点から、自身の行動を変えていくことで、地域にも変革を齎すことができることをご講演いただきました。

また、第2部では、茂木氏と2020年度資質向上委員会 佐々木雅文委員長のクロストークを行い、茂木氏から、より強靱な組織を作る上で、個性を響き合わせることの重要性などをお話いただきました。

本例会を通して、インテリジェンスや情報収集の重要性、自ら率先して行動することや個性を認め合うことの大切さ、フォロワーがリーダーを成長させることなどを学ぶことができ、改めて、仙台JCだからこそできることを認識

し、誠の心を具える契機となりました。



廃車の高価買取・中古部品・中古車販売
有限会社 泉自動車解体

〒983-0824
宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷字大谷 3

営業時間: 8時30分～17時30分(土曜17時)

☎022-255-9855

第4回例会(対内例会)Work Together ～開眼！未来を切り開く広報発信～

10月5日(月)ウェビナー開催にて、今後の仙台JCIの広報展開を考える例会を実施いたしました。

第1部では合同会社イーストタイムズ 代表社員・CEO 中野 宏一 様に、広報活動の重要性や広報戦略についてご講演いただき、会員の広報活動への理解と意識を高めました。

第2部では株式会社 河北新報社 大泉 大介 様と、奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊 支倉 常長 様を加え、パネルディスカッションを行い、時代に即した広報手法や組織力を活かした情報発信について討論し、今後の仙台JCIの広報展開を考える契機としました。

時にはシンプルにわかりやすく、伝わりやすい広報で、仙台青年会議所の魅力や価値を発信することも大切だと気づかせていただく学びの多い例会となりました。今後も私



たちは、広報のプロフェッショナルの方々からのお話を深く理解し、これからの広報を一致団結して実施してまいります。



仮会員セミナーⅡ

10月10日(土) 2020年度仮会員セミナーⅡが開催されました。

本セミナーは、「錦ヶ丘アーリー迎賓館」にて、ソーシャルディスタンスを守ったうえで仮会員22名全員が受講しました。仮会員以外のメンバーは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からZoomにより参加しました。

3つのプログラム構成で行い、プログラム1では「課題発表」を行いました。9月に開催した仮会員セミナーⅠで与えられた課題について仮会員が塾毎に協議を重ね、3週間という期間内に事業構築セミナーを事前に視聴し、ブラッシュアップしたうえで当日に臨みました。発表課題に対する理事会構成メンバーからの質問や意見により活発な内容で進行されました。プログラム2「講演」では、藤崎 三郎助先輩をお招きし、仙台JCIの歩んできた道のりや得られる機会、仙台JCIが持つ魅力についてご講演いただきました。プログラム3「理事長道場」では、木皿理事長より

仮会員が今後仙台JCIメンバーとして真に活躍するために、何が必要不可欠なのかについて理解するとともに、JCI運動の本質や公益社団法人としての事業について講演しました。

本セミナーを通して、仮会員には仙台JCIに求められる存在意義を理解するとともに、^{まち}仙台の未来を牽引するJAYCEEとしての意識が高まったと考えております。

22名の仮会員全員が仙台JCIの正会員となれるように、会員開発委員会メンバー一丸となって開発に取り組んでまいります。



夢のある新しい街づくり



解体 そして 再生への第一歩
株式会社 **東洋環境開発**

- 建造物解体工事
- アスベスト除去工事
- 産業廃棄物収集運搬・処分
- 感染性廃棄物収集運搬



プラットフォーム『SENDAI Save the lives』開設と『新型コロナウイルス終息に向けた取り組み紹介』

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、市民と共に地域課題の解決に取り組む組織として、仙台青年会議所のネットワークによる有益な情報発信のもと、地域・市民の安全と生活を守る運動を発信し続けていくことが必要と考え、仙台青年会議所公式ホームページにプラットフォーム「SENDAI Save the Lives」を追加し、コロナ禍において適切な事業を展開させていただいております。また、Facebook 特設ページにおいて「仙台青年会議所会員の新型コロナウイルス終息に向けた取り組み紹介」を発信することで、会員が、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けてどのような取り組みを行っているのかを広く発信し意識啓発を行っております。

私たちは、コロナ禍においても広報委員会として適切な情報の発信を実施し、誰もがしがあわせな未来を想い描くことができる仙台の実現に向けて運動を展開してまいります。

QRコードよりアクセスください。



SENDAI Save the Lives



仙台青年会議所会員の新型コロナウイルス終息に向けた取り組み紹介

子どもの生きる力創出事業～届け！私たちの声～

仙台市内の高校生を対象に新型コロナウイルス感染防止のための休校中に行ったアンケートの結果をもとに、「ICTの活用について」「9月入学について」「学校行事について」をテーマに5月30日（土）に未来を担う高校生オンラインサミットを開催させていただきました。参加した高校生たちは、今置かれている環境や自分の未来に対して真剣に話し合い、自ら考え行動を起こしていく必要性を共有した貴重な機会となりました。

その後、6月10日（水）、高校生連携協議会のメンバーと共に、仙台市及び宮城県へ「高校生の声」と約500名から寄せられたアンケート結果を提出してまいりました。

提出に加え、出席した高校生連携協議会のメンバーへ一

ずつ想いを伝える機会をいただき、書面のみならず高校生の熱いリアルな声をお伝えすることができました。

私たちは今後も、高校生と行政とともに、仙台の明るい未来へ向けて行動してまいります！



新型コロナウイルス対策ウェビナー

6月29日（月）、6月度新型コロナウイルス対策ウェビナーを開催いたしました。2020年度資質向上委員会メンバーである後藤 泰己君（弁護士）と田中 良寛君（税理士）から、専門的見地を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大に伴う厳しい経済情勢を乗り越えていくため、どのような対策や対応が可能か、クロストーク形式でお話いただきました。今後の活力となる知識や方法を共有し、現在の困難な社会情勢に立ち向かっていく契機となりました。

また、7月16日（木）、7月度新型コロナウイルス対策ウェビナーを開催いたしました。2020年度会員開発委員会メンバーであり、東北大学データ駆動科学・A | 教育研究センター特任准教授でもある高橋 蔵人君から、アフターコロナや

ウィズコロナにおいて到来することが予想されるデジタル時代についてお話いただきました。DXやデータの蓄積・活用についてなど、今後の時代を見据えて行動する上で、基礎となる情報を発信していただき、これからの社業に反映していく契機となりました。





45



株式会社 日本エコライフ

新しく
美しいエネルギーへ！

イメージキャラクター
嶋 基宏

所在地
宮城県仙台市青葉区本町2-2-3 鹿島広業ビル 9F
TEL022-722-0705 / FAX022-722-0706



本社	仙台市宮城野区扇町3丁目8番7号TEL：022-232-0381
営業所	<ul style="list-style-type: none"> ■大河原営業所宮城県柴田郡大河原町大谷字戸ノ内前42-17 TEL：0224-52-6661 ■卸町営業所 本社と同住所 TEL：022-232-0691
事業内容	各種自動車部品販売・各種自動車用品販売各種タイヤ販売・アルミホイール修正・各種油圧ホース

IMAGE 2021'S
SENDAI.

仙台の未来を、
具体的にイメージすること。

2021年度JCI国際アカデミー開催に向けて

仙台JCIは、2011年に震災から10年後の未来へ向け
てフラッグ「IMAGE 2021'S SENDAI」を掲
げてから、2021年の仙台が、私たちの理想とするまち
へと復興を成し遂げるとともに、全国・全世界からいた
だいた支援への感謝の気持ちを忘れることなく、希望に満ち
た未来を思い描くことができる地域を取り戻す責任のもと
運動を展開することを誓いました。

2014年には、私たちの理想である「しあわせを共感
できる仙台」の実現に向けて、社会・個人・国際の3つの
分野における方向性を明確にし、2021年までの仙台J
CIの運動指針「中長期ビジョン2021」として示しました。
なお、中長期ビジョン2021を指針として仙台JCIが実
施した防災事業「しあわせな黄色いハンカチプロジェク
ト」、国際事業「Together in Sendai」
の2事業においては、両事業ともにJCIアワード※最優
秀賞を受賞し、現在においても地域・市民や行政と連携し
市民運動として継続しております。

前述より、仙台JCIは地域や市民の防災意識・国際意識
の高揚を促し、市民協働による事業を継続的に展開するな
かで、「しあわせを共感できる仙台」を実現するために、
2021年にJCI国際アカデミー※を仙台の地に誘致する
ことを採択し、メンバーの意識統一とともに、国際アカデ
ミー開催に向けた調査・検証や国際意識の啓蒙に向けた事
業を推進してまいりました。

そして、2020年10月にJCI国際アカデミーが仙
台の地で開催されることが正式に決定し、仙台JCIの組織
体である仙台国際化推進会議は、仙台JCI全体が国際アカ
デミーという事業に対する意識と知識を高めることと、2
021年度に国際アカデミー仙台開催が齎す運動発信が最
大限の高みを目指すこと、さらに2021年度が最高の
スタートを切るというところを目標に調査・研究を進めて
おります。現在まで、本年度検討委員会を立ち上げてから、
対外折衝を継続的に行い、行政や関係各所との協力体制を
構築してまいりました。さらに、2021年度の事業構築
に対するスピード感や、メンバー一人ひとりの当事者意識
の向上、仙台JCIが掲げる中長期ビジョンの検証に対しても、
しっかりとつながる仕組み作りを実施しております。

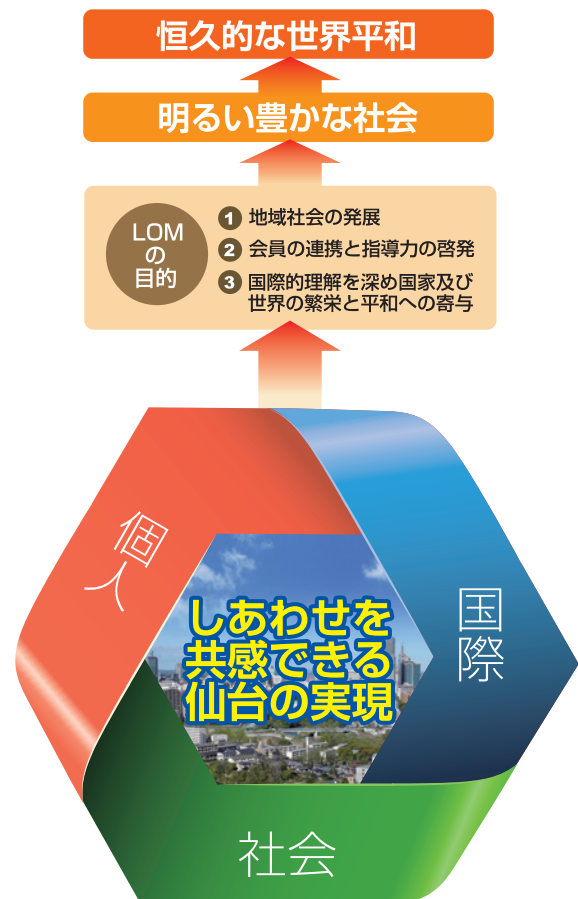
今後も、仙台の国際化を実現するなかで、JCI国際アカ
デミーin仙台が、仙台に対する最大の事業効果をあげら
れるよう仙台国際化推進会議は継続して活動してまいりま
す。

※JCIアワードとは

世界125カ国にある約4,700の青年会議所が開催した
各事業を申請することで、国内外へその情報を発信・共
有できる事業です。その制作過程で客観的に事業を考察
し、様々な気づきを得ることで今後の事業構築につなが
ります。エントリーから審査まで決められたルールに則
り行われます。

※JCI国際アカデミーとは

世界80か国あまりの国際青年会議所の代表者が集い、
約10日間、グローバルネットワークとしての自己研
鑽を重ねるとともに、各国との友情を深め、自分の国や
地域に留まらない社会発展や世界平和の確立を目指しま
す。そして、滞在した国、その地域の魅力を自国に持ち
帰っていただく事業です。



公益社団法人仙台青年会議所
Junior Chamber International Sendai

LOM
VISION

LOM中長期ビジョン~2021

2021年度理事長予定者挨拶



公益社団法人 仙台青年会議所
2021年度理事長予定者

菅原 啓太

この度、公益社団法人仙台青年会議所2021年度の理事長職をお預かりすることとなりました菅原啓太と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

数ある地域の中でも持続可能な都市として、世界中から手本とされ信頼を得ている。経済発展と文化の進化と継承が相乗効果を生み、好循環を齎している。経済や人の流れが集積し、地域文化の振興方策を講じて活気に満ちている。生まれ育った土地に誇りを持ち、未来を見据え行動する人で溢れている。大人たちは、地域の宝である子どもたちの成長を心から願ひ、未来を担う人材の可能性を無限大に広げている。私たち青年世代の熱意と行動力が、地域を発展させるエネルギー源となり、明るい豊かな社会の実現に向けて推進力を増幅させている。私は混迷を極める時代にある今だからこそ、このような仙^{まち}台の未来像を描いています。

令和という希望ある時代は始まったばかりです。しか

し、私たちが直面している現実には冷酷です。新型コロナウイルスのパンデミックは、世界規模で様々な危機的状況を引き起こしながら、依然として私たちの生活に甚大な影響を与え、時には生命にとって脅威となっています。このような不確実性の高い時代だからこそ、私たちは青年会議所という組織の創始の精神と歴史の恩恵に与っていることを今一度噛みしめ、責任世代として積極的に行動していくことが重要であると考えています。

2021年度のスローガンは「Stand Out!」次世代がより豊かになる仙^{まち}台へ」としました。「Stand Out!」には「飛びぬけよう」など抜き出るといった意味があります。物事に取り組む前からできない理由を述べるのではなく、青年らしく何事にも挑戦し、良い意味で目立つ組織になりましょうという想いを込めました。このスローガンのもと、より良い地域の未来に向けて運動を展開してまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員会

- 委員長 佐々木 拓也
- 副委員長 勝又 源紀
- 副委員長 中村 圭祐
- 幹事 渡部 要介
- 幹事 荒川 広之
- 幹事 大村 芳夫
- 委員 青木 洋介
- 委員 大友 勇平
- 委員 高橋 史士
- 委員 高橋 博明
- 委員 唯野 克也
- 委員 平野 寿樹



広報誌「のぞみ」をご覧いただきまして誠にありがとうございます。

本年度の仙台青年会議所は、Work Together to Create the Future～至誠の精神のもと仙^{まち}台の未来を切り開こう～をスローガンに活動を行ってまいりました。

新型コロナウイルスの影響がとて大きく、年初に計画をしておりました事業内容や、その開催手法についても転換を余儀なくされる1年間となりました。

仙台青年会議所は2021年度で70周年を迎え、JCI国際アカデミーの開催を予定しております。

仙台JCIでは、今後もさまざまな発信ツールを用いて、開催・実施する事業や例会などを随時ご紹介・ご報告させていただきますので、引き続きご愛読くださいますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、広報誌「のぞみ」の発行にあたり、ご協力、ご支援を賜りました皆様に心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。今後とも、公益社団法人仙台青年会議所を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

お気に入りの靴 バッグの修理など お任せください!

壊れた
金具の
交換

綻んだ
縫い目の
修理



磨り減った
カカトの
交換

磨耗した
靴底の
修理

新居の
合鍵作製



靴・バッグの修理と合鍵作製



クイックセンター

イオン仙台店
イオンモール石巻店

THE MALL仙台長町店
イオンモール富谷店
S-PAL仙台店(靴物語)

イオン仙台中山店
イオンモール山形南店

<http://www.kutushuri.com/>

クイックセンター

検索